



共 成



昭島市立共成小学校
校長 佐伯 孝司
令和3年3月10日

HP <http://www.city.akishima.ed.jp/~kyosei/>

「言葉の力でやさしい共成小」へのスモールステップ

校長 佐伯 孝司

「私は、カレーライス!」「僕は、ハンバーグ!!」日常会話の中で、使われている日本語です。言葉通りに英訳すると“I am …! ”。通常は理解できないような文になります。しかし、話し手と聞き手が、その言葉の出てくるまでの経緯、その場の状況等を思い合うことができると、この文でもレストランで食べ物を注文することができます。目的を共有し、自分の考えや意思をもち、相手を思い、場の状況を判断すること。言葉を大切にすることは、自分も相手も大切にすることであり、思考力・判断力・表現力等が育つことにつながると思っています。言葉の力は、言葉についての知識や技能を学ぶだけでは育ちません。相手の言葉に込められた気持ちや意図、背景にある状況等を理解しようとし、相手によりよく伝わるように表現を工夫することも、必要なことです。だからこそ、相手の言葉の一部を切り取って非難しないということも、児童に教えてあげたいことの一つです。

何かを学ぶとき、通常は、「できる」状態になるまでは、まだ「できない」状態が続きます。「できた」と思える状態に到達するまでには時間がかかります。目標にしたことができていない自分と向き合う時間は、意外に長いものです。学校での子供たちは、そういう時間を過ごしています。もちろん、たくましく壁を乗り越える心をもってほしい面もあります。一方で、「できない」ではなく、「できている」と思う時間を意図的につくっていくことも大切です。「できない」ということは同時に、「ここまではできている」「できることがある」ということです。私たち大人には、できていない現状を嘆くよりも、できているところをすくい上げて伝えること、目標に向かって頑張ろうとする気持ちに共感することも、大切なことです。子供自身が、「自分には、できることがあるんだ」「こういう部分は、力が伸びているんだ」「まだ結果はでていないが、頑張れた自分は以前とは違うんだ」などと、思えるようになってほしい。その実感は、他者と一緒に学ぶことで、より強く深くなります。友達から学び、今までにない視点をもつこと、その変容を友達から認めてもらうこと。逆に、友達に視点を与えること、友達の変容に気付いて伝えてあげること。一人で学ぶことも大切ですが、みんなとつながり学ぶことのよさも、理解していかれたらと思います。

言葉の力を大切に思考力・判断力・表現力等を伸ばし、必要な知識や技能を身に付けようと頑張る過程で、大きな目標に向かうために小さくステップを踏み、「できる」自分を見付ける喜びを味わい、みんなで学びながら自己有用感を高め、主体的な態度につながる場に。私たち教職員が心をついに願ってきた共成小学校の姿です。私たちの支援が十分でないところもあったかと思えます。その中から一つずつでも、子供たちと共に「できた」ところを見付けていただければ幸いです。

この3学期、共成小では「6つのルール」を教員みんなで指導することにしていました。児童の様子を捉え、まとめの時期にこれだけは頑張ってもらいたいということを視覚的に伝えようと考えました。この目標に到達するにはどんなステップを踏んでいったら



よいでしょう。私たちは、2学期に取り組んだ「学習スタンダードマスター」を活用しました。学習スタンダードにある「時間について」を実現するためにはどんなことが必要か、などと職員室で話し合い、スモールステップで「できる」状態をつなげていくように取り組みました。コロナ禍で様々な活動を制限されている子供たちの気持ちも考えながら、「だめ」を「できる」に変える方法を工夫してきました。

休校から始まり、困難な状況もありましたが、協力して成長する子供たちとつながりながら過ごした一年間、喜びと幸福を感じます。ご家庭、地域の皆様のご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

3学期のアルバム

春



児童会で、子供たちからいろいろな人への「ありがとう」を集め、きれいな花を咲かせました。



♪今日はたのしいひなまつり♪
若草学級の児童が作り、廊下に飾ってくれました。

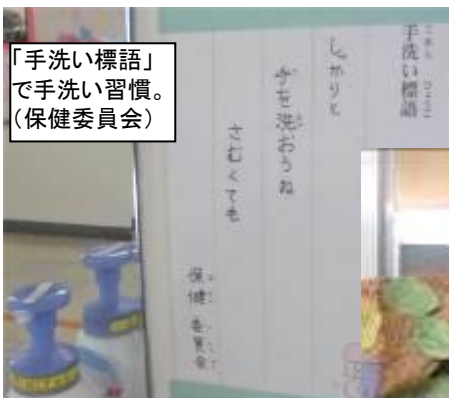
もうすぐ卒業・進級



5年生は、それぞれ役割をもちながら力を合わせ、共成小のリーダーとしてのバトンを受け継いでくれています。



6年生を送る会。集会はできませんが、みんなで6年生への感謝とお祝いのメッセージを書きました。5年生がまとめ、6年生に渡してくれました。廊下に掲示しています。



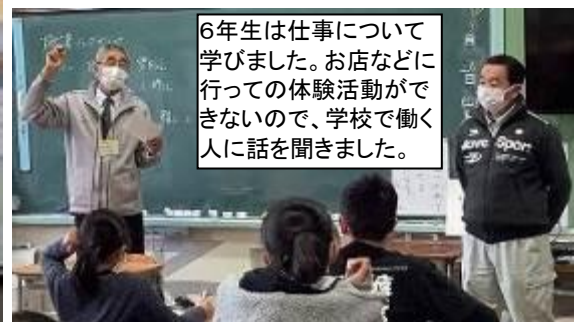
「手洗い標語」で手洗い習慣。(保健委員会)

読書週間の取組「しおり」のプレゼントが大好評でした。(図書委員会)



手作りメダルをかけてっこり6年生。

5・6年生は、委員会活動もみんなで工夫して頑張りました。どの委員会のどの仕事も、学校を支えてくれました。ありがとう。



6年生は仕事について学びました。お店などに行っている体験活動ができないので、学校で働く人に話を聞きました。

すてきな作品に囲まれて～校内作品展～



各学級で2グループに分かれ鑑賞の時間をもちました。感動したことや学んだことなどをカードに書く姿も熱心でした。



すてきな作品に囲まれて学校生活を送った1週間でした。



作品の感想を手紙に書いて、きょうだい学年等で贈り合いました。画像は1年生から6年生へのお手紙です。

元気に過ごそう

おうち時間が長くなったこの1年。運動機会の確保は大切です。



体力向上週間(第3回)
休み時間に校庭で短縄跳びに取り組みました。きょうだい学年が時間を合わせ、一緒に取り組みました。



風と友達になりました。
元気な1年生です。



感染症対策もしっかり。音楽は歌唱や管楽器ができませんが、木琴等を活用し、工夫して楽しく学んでいます。1年生も上手。

心もぽかぽか



丁寧に上履きをそろえてくれてありがとうございます。
お家ではどうですか？



タブレットを大型モニターにつないでプレゼンテーション。発表後、大きな拍手が温かいです。

今年度は学校公開等でご来校いただく機会が少なかったため、画像を用いて児童の成長の様子を少しでもお伝えできればと考え、紙面を作っていました。十分でないところもあったかと思いますが、保護者・地域の皆様から温かいお言葉もいただき、ありがとうございました。

【研究指定校としての取組】

本校では、令和2・3年度昭島市教育委員会研究指定校として、「言葉の力で考えを深める児童の育成」を主題に授業研究に取り組んでいます。国語科を中心に、自分の考えのタネを可視化・言語化し、友達を学び合うことで深めていく学習過程について、今後も工夫していきます。

令和4年2月4日（金）には、研究発表会の開催を予定しています。



感染症対策でなかなか話し合う場面をつくれませんが、今後も対策を講じながら

少しずつ話し合い活動を取り入れていきます。

【交通事故の防止】

交通安全に関する児童の様子から、次のことについてご家庭でもご注意ください。

○青信号でも安全確認

特に交差点で曲がってくる車に注意

○「ながら歩き」に注意

友達とふざけたり会話に夢中になったり…

→思わず車道に飛び出してしまうことも

スマホ等を操作したり本を読んだり…

→車の接近や信号に気付かないことも

○子供も、加害者になる可能性があること

特に自転車に乗っているとき

急いで歩いているときも

→高齢者や小さなお子さんにぶつかることも